

7月28日の公開研修会では、弘済学園の園長 大永篤様に来校いただきました。「重度知的障害を伴う自閉症児への支援～本人の困り感～」というテーマで、事例を上げて分かりやすく講演していただきました。今回は、講演の中で出てきたキーワードの一部を振り返りながら、皆さんのアンケートの紹介をしたいと思います。



キーワード①本人の困り感

- ・生徒たちの視点に立ち、何に困っているのか考えることの大切さを改めて感じました。将来、社会に進出する一人ひとりが周りから愛され、手を差し伸べてくれるよう適切な支援や手立てを考えていきたいと思っています。
- ・研修会を通して自身が本人の困り感を理解することを怠っていたように感じました。支援を行う上でのヒントをたくさんいただいたので今後生かしていきたいです。
- ・豊富な経験に基づいた貴重なお話に非常に感銘を受けました。子どもたちの困り感について様々な方の意見や考えが聞けたことも新たな視点を得るヒントへとつながりました。私はつい教材づくりのみで完結してしまいがちですが、大永様がおっしゃっていたように社会のニーズをとらえ、逆算して考えていくことの重要性を再確認いたしました。
- ・あらためて、子どもさんの困り感から、困った行動を見ることの大事さを心にとどめることができました。知っていてもどうしても、大人の側から見てしまっていたことに気づき反省しました。
- ・本人の困り感を理解する、この視点を常に忘れず日々の支援を行っていきます。安心安全であることの大切さ、信頼関係の大切さ、もう一度しっかり考え、行動していきたいと思っています。



キーワード②「家族の中の子ども」として

- ・お話を聞きながら児童と保護者の顔が思い浮かびました。社会性は必要で障害を理由になんでもありではないという部分や感性は年齢相応であること、いつまでも幼いままの時の対応ではなく折り合いをつけて本人が妥協できるように提案をしていかなければならないなど保護者の方にも聞いてもらえたらもう少し同じ方向を向いて話ができるのかなと思うこともありました。
- ・質疑応答の時に疑問に思っていたことなどヒントを得ることができました。私達は研修をさせて頂けていますが、親の我が子を知るための研修とかはあるのでしょうか。子を思う気持ちが誤学習につながらないようにと思います。

キーワード③折り合い

- ・学校では安心感を持って過ごせるよう、見通しを持ちやすい授業や環境を整えていきたいです。7：3の折り合いも大切なことだと思いました。
- ・快と不快は7：3としていましたが、この数字を厳密にとらえることはあまり意味はないと解釈しました。それぞれの障害の状態（こだわりの大きさ）等によっては、ある日は行動問題を止める（不快？）ことが多い時もあると思いますので。トータルとして快の方が多くないと児童・生徒（利用者）がもたない、という意味と解釈しました。

この研修会には、地域の保育園、小中学校、支援学校、事業所等、外部からもたくさんの方が参加されました。保育園の先生方からも「自分は未就学児と関わっていますが、先を見据えながら対応していきたいと思っています」等、アンケートに回答していただきました。上記に挙げたキーワード以外に、どの回答にも共通して社会性や安心感について書かれていました。ケースバイケースで模索しながらではありますが、今回の研修をヒントに心豊かな子どもの成長を目指して関わっていききたいですね。



～使ってみて!!～

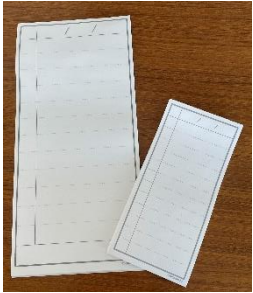


みなさん「(株)おめめどう」のコミュニケーションメモ帳(いろいろな種類があります。)をご存知ですか？

以前第1職員室の壁にポケット付きで貼り出してあったものです。現在は放送室の奥の第2相談室(他の支援グッズもある部屋)のレターケースへと引っ越しをしました。

引っ越しのお知らせと共に、どのようなものがあるのか、使い方などもまた少し紹介したいと思います。

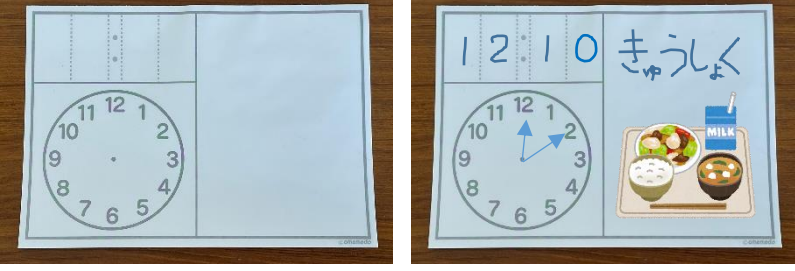
【みとおしビッグ・ミニ】



スケジュールをかき込めるメモで、文字が書ける児童生徒が全体の時間割を書き写したり、授業で行う内容を先生が児童生徒へ個別に提示したりして見通しをもちやすくし、心穏やかに過ごしてもらうための支援ツールです。シンプルなラインのみなので、枠を調整するなどのアレンジもしやすいです。名前の通りサイズは2種類あり、小さい方は常に机の上に置いておいたり、持ち運んだりするのも便利です。

【とけいメモ】

左側の時計で次の活動の時間を表記して、隣のスペースに活動内容をイラストと一緒に書き込んでおき、見通しを持ちやすくしたり、次の活動への切り替えをスムーズにしたりする支援ツールです。アナログ時計とデジタル時計表記が同時にできるようになっているので時計の読み方の練習中の児童生徒にも使用しやすいツールになっています。始めは時計を横に置いておいて、マッチングする練習から始めるとよいですね。



今回紹介した「みとおしメモ」「とけいメモ」の他にも、子どもたちの支援に役立つメモが沢山あります。第2相談室に使い方も置いてありますので、是非確認していただき、ご活用ください!!!!

注意

今回紹介した(株)おめめどうのメモは登録商標であるため、コピー厳禁です。そのまま使用していただき、なくなったときは相談支援班までお声掛けください。

相談カード (教員用) 記入日 令和 年 月 日
 対象児童生徒 小・中・高 年 氏名 (イニシャル) _____

1. どのようなご相談ですか？ (○をつけてください)
 ①行動面について ②学習面について ③コミュニケーションについて ④運動面について
 ⑤家庭に関すること ⑥ その他 ()

2. 困っていることは何ですか？

3. 今後どのような方法をご希望ですか？ ①情報提供 ②アドバイス ③ケース会 ④外部専門職との連携
 ⑤道具の工夫環境調整 ⑥その他 () 担任→相談支援係へ提出をお願いします。